

授業科目名	生活支援技術Ⅲ（レク）		科目コード	1016		
開講クラス	介護福祉学科	コース	介護福祉士コース	学 年	1 年	
担当教員	長嶺 佳子					
	実務経験教員（ ☒ ・ 無 ） 実務経験内容 レクリエーションコーディネーター					
開講時期	前期・ ☒ 後期・通年・特別講義・その他			授業コマ数	30時間	
	☒ 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須			単 位 数	1 単位	
使 用 テキスト1	書 名					
	著 者					
	出版社					
使 用 テキスト2	書 名					
	著 者					
	出版社					
参考図書						
授業形態	☒ 講義 ・ ☒ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他（ ）					
＜授業の目的・目標＞ 多様な介護現場において活かせるレクリエーション技術を身につけ実践できる。						
＜授業の概要・授業方針＞ 介護福祉士として施設等で実施するレクリエーションの基礎を学び自分自身で提案できる。						
＜成績基準・評価基準＞ ①出席状況 ②授業態度 ③提出物から総合的に評価する。 ※居眠り、授業中の携帯電話使用、忘れ物、必要ない私語などみられる場合は減点とする。						
＜使用問題集・注意事項＞						
＜授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他＞ ・施設見学、（施設・居宅）介護実習、ボランティア活動						

授業科目名		生活支援技術Ⅲ（レク）
回	授 業 内 容	備 考
1	生活の中でのレクリエーション①	
2	生活の中でのレクリエーション②	
3	アイスブレーキング／人との関係とレクリエーション①	
4	アイスブレーキング／人との関係とレクリエーション②	
5	レク財の考え方／レク財の分類①	
6	レク財の考え方／レク財の分類②	
7	レク財の活動分析の考え方と方法①	
8	レク財の活動分析の考え方と方法②	
9	レク財の活動分析の考え方と方法③	
10	レク財の活動分析の考え方と方法④	
11	「生活の快」とは①	
12	「生活の快」とは②	
13	福祉レクリエーション援助のための対人援助①	
14	福祉レクリエーション援助のための対人援助②	
15	障害や個人に対応したレク財の選択・開発・アレンジ①	
16	障害や個人に対応したレク財の選択・開発・アレンジ②	
17	福祉レクリエーションの実際①	
18	福祉レクリエーションの実際②	
19	福祉レクリエーションの実際③	
20	福祉レクリエーションの実際④	
21	福祉レクリエーションの実際⑤	
22	福祉レクリエーションの実際⑥	
23	創作レクリエーションの発表準備①	
24	創作レクリエーションの発表準備②	
25	創作レクリエーションの発表準備③	
26	創作レクリエーションの発表準備④	
27	創作レクリエーションの発表①	
28	創作レクリエーションの発表②	
29	創作レクリエーションの発表③	
30	創作レクリエーションの発表④	